

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	福岡 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難	
文化・教養 専門課程	エコ・コミュニケーション科 (3年制)	ドッグマスター専攻	夜・通信	3000時間	240時間	
		動物看護福祉&理学療法専攻	夜・通信	2385時間	240時間	
		こども保育&動物飼育専攻	夜・通信	2025時間	240時間	
	エコ・コミュニケーション科 (2年制)	動物看護師専攻	夜・通信	1785時間	160時間	
		ペットトリマー専攻	夜・通信	1320時間	160時間	
		ペットトリマー&動物看護師専攻	夜・通信	1500時間	160時間	
		ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	夜・通信	1470時間	160時間	
		ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	夜・通信	1800時間	160時間	

文化・教養 専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制)	キャット プロフェッショナル 専攻	夜・ 通信	1260時間	160時間	
		ドッグトレーナー専攻	夜・ 通信	1380時間	160時間	
		動物園・動物飼育専攻	夜・ 通信	1020時間	160時間	
		動物園公務員専攻	夜・ 通信	1020時間	160時間	
		ドルフィントレーナー専攻	夜・ 通信	1080時間	160時間	
		水族館・ アクアリスト専攻	夜・ 通信	1200時間	160時間	
		海洋生物保護専攻	夜・ 通信	1260時間	160時間	
	エコ・マスター科 (1年制)	動物園・動物飼育& 保育士・幼稚園教諭 専攻	夜・ 通信	690時間	80時間	
(備考) ●エコ・コミュニケーション科(3年制)のドッグマスター専攻、動物看護福祉&理学療法専攻、エコ・コミュニケーション科(2年制)の動物看護師専攻は、2019年度より新教育課程を適用。 ●エコ・コミュニケーション科(3年制)のこども保育&動物飼育専攻は、2019年度より募集開始。1年生のみ在学中。 ●エコ・コミュニケーション科(2年制)のペットトリマー&メイク・ネイル専攻、キャットプロフェッショナル専攻は、2019年度より募集停止。2年生のみ在学中。						

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info/)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info/)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	キャリア教育関連団体 代表理事	令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 29 日	学校運営に関する情 報収集
非常勤	他の学校法人 常務理事	令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 29 日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p>	
<p>①科目名 (英語表記含む)</p> <p>②学科・コース</p> <p>③必修選択の別</p> <p>④授業形態</p> <p>⑤年次</p> <p>⑥総時間 (単位)</p> <p>⑦担当教員</p> <p>⑧開講区分、曜日・時間</p> <p>⑨授業の学習内容と心構え</p> <p>※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容</p> <p>⑩到達目標</p> <p>⑪使用教科書・教材・参考書</p> <p>⑫授業外における学習</p> <p>⑬授業概要・回数</p> <p>⑭評価の方法、内容、時期等</p> <p>⑮その他特記事項</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info/) ・ 学生には第1回目の授業にてプリント配布

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

試験規程を制定し、学生便覧に掲載している。その主な内容は以下の通り。

・試験の受験資格

- 1) 次のいずれかに該当する者は、定期試験の受験資格を失う場合がある。
 - a 総出席日数が3分の2に満たない者
 - b 平常授業内での課題未提出数が著しく多い者
 - c 授業料その他学費の未納者
- 2) 前項の該当する者の中で、教務部が認める正当な理由がなく、卒業の見込みがない者については、退学または除籍処分する場合がある。
- 3) 休学中の者は受験資格がない。

・試験の方法

試験は、筆記試験、口頭試験、または実技試験で行うが、レポートや課題の提出が求められることもある。

・成績評価

- 1) 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。
- 2) A・B・Cを合格とし、Dを不合格とする。
 - A : 100～80点
 - B : 79～70点
 - C : 69～60点
 - D : 59～ 0点

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

●GPA制度 (Grade Point Average)

欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0までの点数 (GP=グレード・ポイント) に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。

将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度です。

●GPAの評価対象科目

評価対象となる科目は、基本的に通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」、「学園祭」など。

●GPAの成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合 否
66.7%以上	100～90 点	S(4.0)	合 格
	89～80 点	A(3.0)	
	79～70 点	B(2.0)	
	69～60 点	C(1.0)	
	59～0 点	F(0.0)	不 合格

※規定の出席率を満たし、S～C 評価の場合は単位認定され(合格)、
F 評価は単位認定されない(不合格)。

●GPAの計算方法 (例)

(例) 7 科目履修として

○○概論	(2 単位)	95 点	(S)	4.0 (GP)
××演習	(4 単位)	80 点	(A)	3.0 (GP)
△△研究	(2 単位)	75 点	(B)	2.0 (GP)
□□学	(2 単位)	93 点	(S)	4.0 (GP)
●●制作	(4 単位)	76 点	(B)	2.0 (GP)
■ ■企画	(3 単位)	63 点	(C)	1.0 (GP)
●●演習	(1 単位)	57 点	(F)	0.0 (GP)
合 計	18 単位			

$$\frac{4.0 \times (2+2) \text{ 単位} + 3.0 \times (4) \text{ 単位} + 2.0 \times (2+4) \text{ 単位} + 1.0 \times (3) \text{ 単位}}{18 \text{ 単位}}$$

$$\text{GPA} = 43 \text{ 単位} \div 18 \text{ 単位} \approx 2.39$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

・学校ホームページ
(https://www.eco.ac.jp/school/public_info)

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・卒業、進級判定基準を制定し、学生便覧に掲載している。</p> <p>(1) 卒業の判定基準は以下の通りである。</p> <p> i) 各年次 60 単位(900 時間)以上を習得し、最高学年において卒業認定されたものは卒業することができる</p> <p> ii) 該当する者は、卒業判定会議により最終決定する。</p> <p>(2) (1)の基準を満たさない者は、原級留め置き(留年)または卒業保留となる。</p> <p>(3) 卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。</p> <p>(4) 卒業年度の3月31日を超え、卒業単位未修得による卒業保留の場合、同年4月1日からの次年度において、3月31日までに卒業認定されない場合は、3月31日付で除籍となる。なお、同年4月1日以降は規定の在学期間を超えるため、学生としての身分はなく、よって学生証も発行されない。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>・学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info)</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	福岡 ECO 動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶文化学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
収支計算書又は損益計算書	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
財産目録	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
事業報告書	個別請求にて公開 電話にて請求 092-262-2177
監事による監査報告（書）	https://www.eco.ac.jp/school/public_info

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (3年制) ドッグマスター専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼	2700 単位時間	1050 単位時間	3105 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	4155 単位時間
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (3年制) 120 人の内数		48 人 (うち 30 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (17 人)	96 人の内数 (18 人)		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）

②学科・コース

③必修選択の別

④授業形態

⑤年次

⑥総時間（単位）

⑦担当教員

⑧開講区分、曜日・時間

⑨授業の学習内容と心構え

※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容

⑩到達目標

⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する
卒業・進級の認定基準
進級：各年次の合計習得単位が 900 時間(60 単位)以上 卒業：3 年間の合計習得単位が 2700 時間(180 単位)以上
学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11 人 (100%)	1 人 (9.0%)	9 人 (81.8%)	1 人 (9.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院、ペットショップ、ペットサロン、犬の訓練所 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
JKC 公認トリマーC 級		受験者 10 名、合格者 10 名	
グルーミング検定		受験者 10 名、合格者 10 名	
認定動物看護師		受験者 7 名、合格者 7 名	
コミュニケーションスキルアップ検定		受験者 13 名、合格者 12 名(1 年次受検)	
(備考) (任意記載事項)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度より新教育課程を適用 			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	1 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 精神面での課題がある		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (3年制) 動物看護福祉& 理学療法専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間	1065 単位時間	2535 単位時間			
			3600 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (3年制) 120 人の内数	48 人 (うち 13 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (24 人)	96 人の内数 (25 人)		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<p>進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 卒業：3年間の合計習得単位が 2700 時間 (180 単位) 以上</p>

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・認定動物看護師 受験者 7名、合格者 5名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 9名、合格者 8名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度より新教育課程を適用 			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10.0%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 目的意識の喪失 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (3年制) こども保育&動物 飼育専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間	855 単位時間	525 単位時間			
			1380 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (3年制) 120 人の内数	48 人 (うち5人)	0 人	16 人の内数 (1人)	80 人の内数 (21人)	96 人の内数 (22人)		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<p>進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 卒業：3年間の合計習得単位が 2700 時間 (180 単位) 以上</p>

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ・現在1年生のみ在学			
(就職指導内容) ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ・2019年度より開設した為、卒業生なし ・1年生のみ在籍している為、開設している1年生の授業のみ記載			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 2018年度は在校生はいません		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) 動物看護師専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	1035 単位時間	1755 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2790 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 69 人)	1 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (20 人)	96 人の内数 (21 人)	

<p>カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)</p> <p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む)</p> <p>②学科・コース</p> <p>③必修選択の別</p> <p>④授業形態</p> <p>⑤年次</p> <p>⑥総時間 (単位)</p> <p>⑦担当教員</p> <p>⑧開講区分、曜日・時間</p> <p>⑨授業の学習内容と心構え</p> <p>※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容</p> <p>⑩到達目標</p> <p>⑪使用教科書・教材・参考書</p> <p>⑫授業外における学習</p> <p>⑬授業概要・回数</p> <p>⑭評価の方法、内容、時期等</p> <p>⑮その他特記事項</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2 年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35人 (100%)	1人 (2.9%)	29人 (82.9%)	5人 (14.3%)
(主な就職、業界等)			
・動物病院、ペットショップ 他			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・認定動物看護師 受験者 31名、合格者 25名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 36名、合格者 36名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			
・2019年度より新教育課程を適用			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	2人	2.9%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 目的意識の喪失 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ペットトリマー専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	480 単位時間	1710 単位時間			
			2190 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 37 人)	1 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (10 人)	96 人の内数 (11 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	1人 (12.5%)	6人 (75.0%)	1人 (12.35%)
(主な就職、業界等)			
・ペットサロン、ペットショップ、動物病院 他			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・JKC公認トリマーC級 受験者 7名、合格者 4名 ・グルーミング検定 受験者 8名、合格者 7名 ・アニマルコーディネーター 受験者 8名、合格者 5名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 8名、合格者 6名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	1人	3.7%
(中途退学の主な理由)		
1. 精神面での課題がある		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ペットトリマー& 動物看護師専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	480 単位時間	1890 単位時間			
			2370 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 17 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (12 人)	96 人の内数 (13 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ペットサロン、ペットショップ、動物病院 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
・JKC 公認トリマーC 級	受験者 7名、	合格者 7名	
・グルーミング検定	受験者 7名、	合格者 7名	
・アニマルコーディネーター	受験者 7名、	合格者 7名	
・コミュニケーションスキルアップ検定	受験者 7名、	合格者 7名(1年次受検)	
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ペットトリマー& ドッグトレーナー専攻	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	510 単位時間	1830 単位時間			
			2340 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数	516 人 (うち7人)	0 人	16 人の内数 (1人)	80 人の内数 (12人)	96 人の内数 (13人)		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間(60 単位)以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間(120 単位)以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	9人 (90%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
・ペットサロン、犬訓練所 他			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・JKC 公認トリマーC 級 受験者 10 名、合格者 9 名 ・グルーミング検定 受験者 10 名、合格者 9 名 ・アニマルコーディネーター 受験者 10 名、合格者 10 名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 10 名、合格者 9 名(1 年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	2 人	14.3%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 目的意識の喪失 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ペットトリマー& メイク・ネイル専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	180 単位時間	1290 単位時間			
			1470 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数	516 人 (うち 3 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (10 人)	96 人の内数 (11 人)		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間(60 単位) 以上 ・卒業：2 年間の合計習得単位が 1800 時間(120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度は卒業生なし 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・該当者なし 			
(備考) (任意記載事項)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2年生のみ在籍している為、開設している2年次の授業のみ記載 ・2018年度は卒業生なしのため、就職一覧は0で記載 ・2019年度より募集停止 			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	1人	25.0%
(中途退学の主な理由)		
1. 精神面での課題がある		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
1. スクールカウンセラーとの連携を強化		
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る		
3. 奨学金の活用などの指導を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) キャット プロフェッショナル専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	210 単位時間	960 単位時間			
			1170 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数	516 人 (うち 3 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (7 人)	96 人の内数 (8 人)		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2 年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	1人 (25.0%)	1人 (25.0%)	2人 (50.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・キャットカフェ 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミング検定 受験者 4名、合格者 4名 ・アニマルコーディネーター 受験者 4名、合格者 4名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 5名、合格者 5名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			
<ul style="list-style-type: none"> ・2年生のみ在籍のため、開設している2年次の授業のみ掲載 ・2019年度より募集停止 			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	1人	12.5%
(中途退学の主な理由)		
1. 精神面での課題がある		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
1. スクールカウンセラーとの連携を強化		
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る		
3. 奨学金の活用などの指導を行う		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ドッグトレーナー 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	720 単位時間	1560 単位時間			
			2280 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 30 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (21 人)	96 人の内数 (22 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	5人 (71.4%)	2人 (28.6%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・犬訓練所、ペットショップ 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・アニマルコーディネーター 受験者 7名、合格者 7名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 13名、合格者 10名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	3人	12.0%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 目的意識の喪失 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) 動物園・動物飼育 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	570 単位時間	1320 単位時間			
			1890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 144 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (16 人)	96 人の内数 (17 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名 (英語表記含む)

②学科・コース

③必修選択の別

④授業形態

⑤年次

⑥総時間 (単位)

⑦担当教員

⑧開講区分、曜日・時間

⑨授業の学習内容と心構え

※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容

⑩到達目標

⑪使用教科書・教材・参考書

⑫授業外における学習

⑬授業概要・回数

⑭評価の方法、内容、時期等

⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度

・臨時及び定期試験の成績

・レポート並びに課題成績

上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上

・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
70人 (100%)	0人 (0.0%)	68人 (97.1%)	2人 (2.9%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物園、サファリパーク、ふれあい動物園、観光牧場、生産牧場、ペットショップ 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・アニマルコーディネーター 受験者 70名、合格者 70名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 76名、合格者 73名(1年次受検) ・乗馬技能検定5級 受験者 10名、合格者 10名 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
147人	14人	9.5%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 目的意識の喪失 3. 経済的な理由 4. 進路変更 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) 動物園公務員専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	930 単位時間	1320 単位時間			
			2250 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 37 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (18 人)	96 人の内数 (19 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2 年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0.0%)	9人 (90.0%)	1人 (10.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・動物園、サファリパーク、ふれあい動物園、観光牧場、生産牧場、ペットショップ 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・アニマルコーディネーター 受験者 10名、合格者 10名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 12名、合格者 12名(1年次受検) ・乗馬技能検定5級 受験者 2名、合格者 2名 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) ドルフィントレーナー 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	600 単位時間	1380 単位時間			
			1980 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 52 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (13 人)	96 人の内数 (14 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名 (英語表記含む)

②学科・コース

③必修選択の別

④授業形態

⑤年次

⑥総時間 (単位)

⑦担当教員

⑧開講区分、曜日・時間

⑨授業の学習内容と心構え

※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容

⑩到達目標

⑪使用教科書・教材・参考書

⑫授業外における学習

⑬授業概要・回数

⑭評価の方法、内容、時期等

⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度

・臨時及び定期試験の成績

・レポート並びに課題成績

上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上

・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0.0%)	21人 (87.5%)	3人 (12.5%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・水族館、ダイビングショップ、海洋レジャー施設 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・PADI オープンウォーター 受験者 24名、合格者 24名 ・小型船舶1級 受験者 12名、合格者 12名 ・小型船舶2級 受験者 11名、合格者 11名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 26名、合格者 26名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	3人	5.8%
(中途退学の主な理由)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神面での課題がある 2. 経済的な理由 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) 水族館・アクアリスト 専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	360 単位時間	1740 単位時間			
			2100 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 98 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (13 人)	96 人の内数 (14 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	36人 (92.3%)	3人 (7.7%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・水族館、アクアショップ、ダイビングショップ 他 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・PADI オープンウォーター 受験者 37名、合格者 35名 ・小型船舶1級 受験者 22名、合格者 21名 ・小型船舶2級 受験者 10名、合格者 10名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 41名、合格者 39名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	1人	1.3%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神面での課題がある 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科 (2年制) 海洋生物保護専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間	540 単位時間	1860 単位時間			
			2400 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・コミュニケーション科 (2年制) 560 人の内数		516 人 (うち 19 人)	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (14 人)	96 人の内数 (15 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・進級：各年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上 ・卒業：2年間の合計習得単位が 1800 時間 (120 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0.%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・海洋保護施設、養殖業 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・PADI オープンウォーター 受験者 3名、合格者 3名 ・小型船舶1級 受験者 3名、合格者 3名 ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 3名、合格者 3名(1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10.0%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・精神面での課題がある 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	エコ・マスター科 (1年制) 動物園・動物飼育& 保育士・幼稚園教諭専攻				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	900 単位時間	285 単位時間	1020 単位時間			
			1305 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
エコ・マスター科 (1年制) 40 人の内数		1 人	0 人	16 人の内数 (1 人)	80 人の内数 (15 人)	96 人の内数 (16 人)	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>毎年6月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後、年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。3月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。4月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。</p> <p>①科目名 (英語表記含む) ②学科・コース ③必修選択の別 ④授業形態 ⑤年次 ⑥総時間 (単位) ⑦担当教員 ⑧開講区分、曜日・時間 ⑨授業の学習内容と心構え ※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容 ⑩到達目標 ⑪使用教科書・教材・参考書 ⑫授業外における学習 ⑬授業概要・回数 ⑭評価の方法、内容、時期等 ⑮その他特記事項</p>
成績評価の基準・方法
<ul style="list-style-type: none"> ・出席率、授業態度と参加度 ・臨時及び定期試験の成績 ・レポート並びに課題成績 <p>上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する</p>
卒業・進級の認定基準
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業：年次の合計習得単位が 900 時間 (60 単位) 以上

学修支援等
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制 担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・サファリパーク、児童福祉施設 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンス(業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OGセミナーなど) ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内にて各企業から説明) 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭二種免許 受験者 2名、合格者 2名 ・保育士資格 受験者 2名、合格者 2名 ・社会福祉主事資格 受験者 2名、合格者 2名 ・アニマルコーディネーター 受験者 2名、合格者 2名 (エコ・コミュニケーション科2年次受検) ・コミュニケーションスキルアップ検定 受験者 2名、合格者 2名 (エコ・コミュニケーション科1年次受検) 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ol style="list-style-type: none"> 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 奨学金の活用などの指導を行う 		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	専攻名	授業料	入学金	その他	備考
エコ・コミュニケーション科 (3年制)	ドッグマスター専攻	600,000円	100,000円	892,800円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	動物看護福祉&理学療法専攻	600,000円	100,000円	836,480円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	こども保育&動物飼育専攻	630,000円	100,000円	789,300円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
エコ・コミュニケーション科 (2年制)	動物看護師専攻	600,000円	100,000円	808,300円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ペットトリマー専攻	600,000円	100,000円	870,600円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ペットトリマー&動物看護師専攻	600,000円	100,000円	874,600円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ペットトリマー&ドッグトレーナー専攻	600,000円	100,000円	867,800円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ペットトリマー&メイク・ネイル専攻	600,000円	100,000円	910,140円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	キャットプロフェSSIONAL専攻	600,000円	100,000円	847,500円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ドッグトレーナー専攻	630,000円	100,000円	802,700円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	動物園・動物飼育専攻 動物園公務員専攻	630,000円	100,000円	775,600円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ドルフィントレーナー専攻 海洋生物保護専攻	630,000円	100,000円	835,676円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	水族館・アクアリスト専攻	630,000円	100,000円	824,276円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
エコ・マスター科 (1年制)	動物園・動物飼育&保育士・幼稚園教諭専攻	300,000円	0円	150,000円	総合演習費/健康管理費
修学支援 (任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.eco.ac.jp/school/public_info/																										
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)																										
<p>(1) 学校関係者評価の基本方針 卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者並びに、動物業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、本校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じて、学校運営の改善に生かすことを基本方針とする。</p> <p>(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ガイドラインの評価項目</th> <th>学校が設定する評価項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 教育理念・目標</td> <td>教育理念・目的・育成人材像</td> </tr> <tr> <td>(2) 学校運営</td> <td>学校運営</td> </tr> <tr> <td>(3) 教育活動</td> <td>教育活動</td> </tr> <tr> <td>(4) 学修成果</td> <td>教育成果</td> </tr> <tr> <td>(5) 学生支援</td> <td>学生支援</td> </tr> <tr> <td>(6) 教育環境</td> <td>教育環境</td> </tr> <tr> <td>(7) 学生の受入れ募集</td> <td>学生募集と受け入れ</td> </tr> <tr> <td>(8) 財務</td> <td>財務</td> </tr> <tr> <td>(9) 法令等の遵守</td> <td>法令等の遵守</td> </tr> <tr> <td>(10) 社会貢献・地域貢献</td> <td>社会貢献</td> </tr> <tr> <td>(11) 国際交流</td> <td>海外提携校との交流</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ (10) 及び (11) については任意記載。</p> <p>(3) 学校関係者評価結果の活用状況 動物が好きで本校に入学して来ているが、精神的に弱く学校に来られなくなる学生がいるとのご指摘を受けた。これに対処すべく、SSC (スチューデント・サービス・センター) の強化を図り、スクールカウンセラーを常駐させて、心を支える取り組みを行いました。また、学生に金銭感覚を身につけさせて欲しいとの指摘を受けた。これに対処すべく、金融機関と連携して「マネー教育」を実施し、金銭感覚を養うと共に、お金を計画的に使うことの重要性を伝える。また、各委員より各項目概ね良い評価を頂いたが、その他の意見としては、学科専攻を問わず学校全体への意見として、各委員から「コミュニケーション能力の更なる向上に努めてほしい」「就職100%と共に1年以内の離職率の低下が重要」「中途退学率の更なる低減が必要」「基礎力と応用力の強化が重要」など多くの意見を頂いた。教務会議、全体会議等でこれらの意見を共有し、具体的な対策を実施し、その実現を図っている。</p>			ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目	(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像	(2) 学校運営	学校運営	(3) 教育活動	教育活動	(4) 学修成果	教育成果	(5) 学生支援	学生支援	(6) 教育環境	教育環境	(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ	(8) 財務	財務	(9) 法令等の遵守	法令等の遵守	(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献	(11) 国際交流	海外提携校との交流
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目																									
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像																									
(2) 学校運営	学校運営																									
(3) 教育活動	教育活動																									
(4) 学修成果	教育成果																									
(5) 学生支援	学生支援																									
(6) 教育環境	教育環境																									
(7) 学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ																									
(8) 財務	財務																									
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守																									
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献																									
(11) 国際交流	海外提携校との交流																									
学校関係者評価の委員																										
所属	任期	種別																								
動物病院 院長	1年 2019.4.1~2020.3.31	業界関係者																								
動物病院 院長	1年 2019.4.1~2020.3.31	業界関係者																								

水族館 職員	1年 2019.4.1～2020.3.31	業界関係者
ペットサロン 職員	1年 2019.4.1～2020.3.31	業界関係者
動物園 園長	1年 2019.4.1～2020.3.31	業界関係者
高等学校 校長	1年 2019.4.1～2020.3.31	高等学校関係者
公民館 館長	1年 2019.4.1～2020.3.31	近隣関係者
卒業生代表	1年 2019.4.1～2020.3.31	卒業生代表
保護者代表	1年 2019.4.1～2020.3.31	保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.eco.ac.jp/school/public_info		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.eco.ac.jp/
--